

大分県

OITA Prefecture

2021

目次

- 1 大分県のすがた
- 2 大分県の経済・産業
- 3 大分県庁の組織と業務
- 4 政策の仕組み
- 5 安心・活力・発展プラン2015
- 6 大分県行財政改革推進計画
- 7 令和3年度大分県予算
- 8 令和3年度の主な取組
- 9 大分県管内図、県のシンボル



日本一の

おんせん県おおいた



みりよく

味力も満載

(1) 大分県の位置

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面しています。



(2) 大分県の市町村

大分県は18市町村(14市3町1村)から構成されています(平成の大合併前は58市町村(11市36町11村)でした。)

総人口は約112.2万人(R3.2.1現在)であり、人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市です。総面積は約6,341km²であり、面積が最も広い市町村は佐伯市です(九州一)。

区 分	面積 R3.1 (km ²)	世帯数 R3.2.1 (世帯)	人口 R3.2.1 (人)		
			総 数	男	女
大分県	6,340.70 * A	496,298	1,122,482	533,305	589,177
大分市	502.39	213,782	477,354	229,667	247,687
別府市	125.34 * a	54,695	116,189	52,754	63,435
中津市	491.44 * b	37,805	82,712	40,270	42,442
日田市	666.03	25,504	61,847	29,315	32,532
佐伯市	903.14	29,376	66,571	30,899	35,672
臼杵市	291.20	14,550	35,745	16,936	18,809
津久見市	79.48	6,981	15,700	7,314	8,386
竹田市	477.53 * c	8,549	19,723	9,177	10,546
豊後高田市	206.24	9,860	21,887	10,437	11,450
杵築市	280.08	11,869	27,700	13,382	14,318
宇佐市	439.05	22,587	52,810	24,846	27,964
豊後大野市	603.14	13,935	33,100	15,427	17,673
由布市	319.32 * a	13,448	32,723	15,457	17,266
国東市	318.10	11,941	25,858	12,317	13,541
姫島村	6.99	841	1,718	809	909
日出町	73.26	11,382	27,873	13,259	14,614
九重町	271.37 * c	3,430	8,626	4,119	4,507
玖珠町	286.60	5,763	14,346	6,920	7,426

* A 大分県及び福岡県、熊本県は境界の一部が未定のため、参考値である。

* a 別府市及び由布市は、境界の一部が未定のため、参考値である。

* b 中津市及び福岡県田川郡添田町は、境界の一部が未定のため、中津市は参考値である。

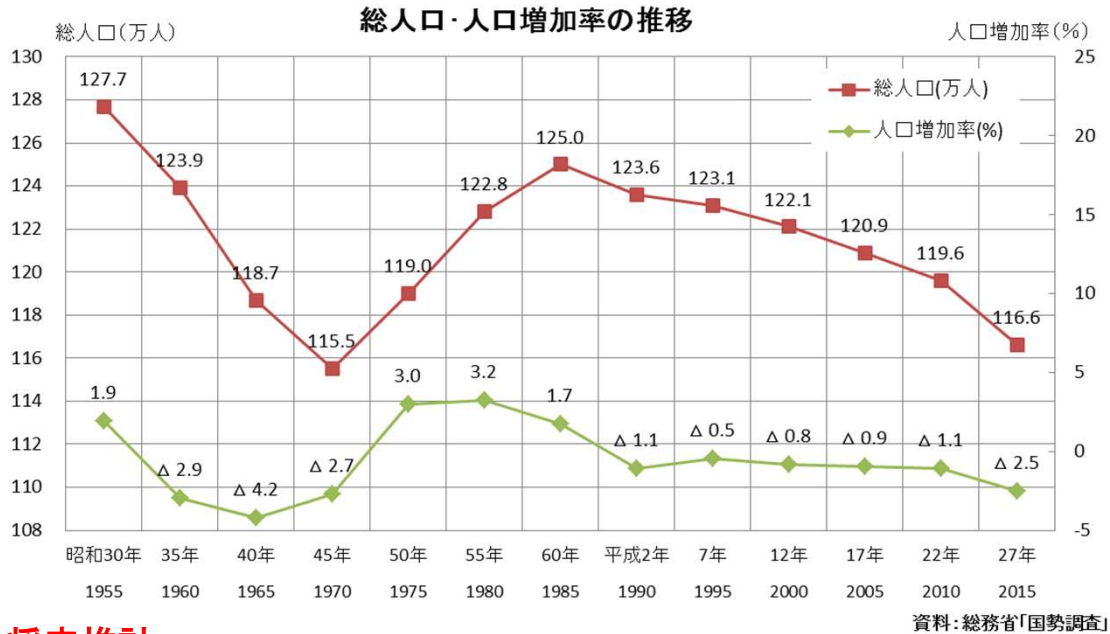
* c 竹田市、玖珠郡九重町及び熊本県阿蘇郡小国町は、境界の一部が未定のため、竹田市及び九重町は参考値である。

資料：国土地理院、県統計調査課

(3)人口の推移

大分県の人口は、昭和30年の127万7千人をピークに減少を続け、昭和45年には115万5千人にまで落ち込みましたが、その後は増勢に転じ、昭和60年には125万人となりました。

しかしながら、昭和60年を境として、東京一極集中や過疎化の進行等により減少傾向が続いており、平成27年には116万6千人となり、昭和45年以来の大きな減少率となりました。



(4)人口の将来推計

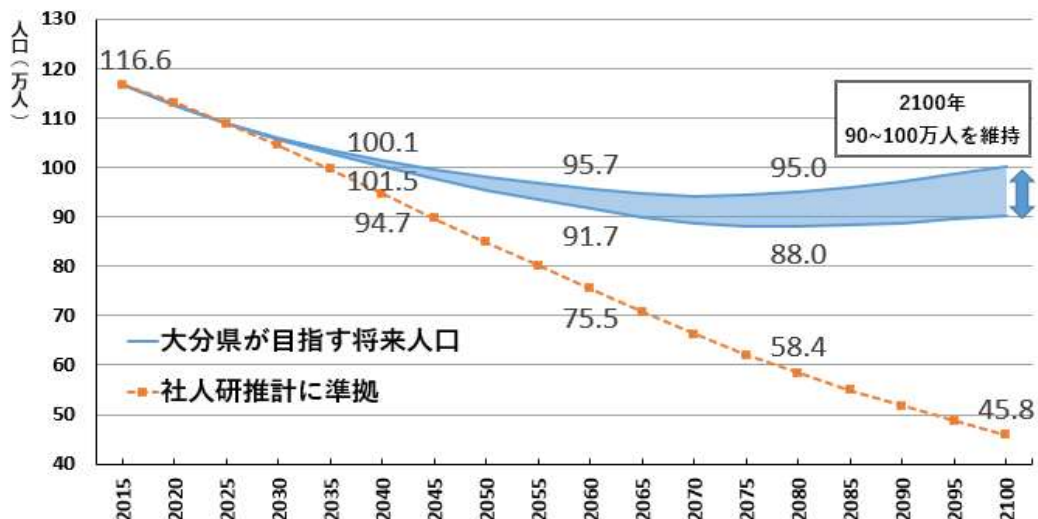
大分県の人口は、このまま何もしなければ、2100年には45.8万人と、人口減少がさらに進行するものと推計しています。

一方で、県民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現など自然増を図り、併せて若者の流入・定着など社会増を促進することで、2100年でも90万~100万人程度の人口を維持できると考えています。

この人口維持の実現に向けて、地方創生の取り組みを進めることにより、特に、重要な要素である「合計特殊出生率」「出生数」「人口の社会増減」について、以下の指標を達成することが重要です。

合計特殊出生率	出生数	人口の社会増減
2025年(R7年) 1.83	2025年(R7年) 9,000人程度	2025年(R7年) 均衡

総人口の将来推計



(5) 大分県の特徴

大分県は、温暖な気候に恵まれ、海や山などの豊かな自然、その中で育まれた新鮮で安全な食材、宇佐神宮や六郷満山、国宝臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。

また、なんとといっても県内全域に広がる温泉は、日本一の湧出量と源泉数を誇り、地球上にある10種類の泉質のうち8種類を有しています。

さらには、「The・おおいた」ブランドとして、関あじ・関さば、豊後牛などの高級食材をはじめ、かぼすやしいたけなど四季折々の素晴らしい食材も満載です。



別府湾地域
多彩な温泉と遊びの競演

別府・海地獄

日本一の温泉湧出量、源泉数を誇り、バラエティに富んだ温泉が満喫できる別府をはじめ、別府湾沿いに開けたエリア。海を望む水族館やテーマパークなどのレジャーも充実。



宇佐・国東地域
六郷満山と古の文化

宇佐神宮

かつて宇佐神宮を中心とした八幡文化で栄えた宇佐地域と、「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開いた国東半島を中心とするエリア。磨崖仏や石橋など石造物も豊富。



日田・耶馬地域
緑薫る歴史と景勝の地

一目八景

江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、今も当時の町並みと町人文化が残る日田、城下町の風情が息づく中津など、歴史の薫り漂うエリア。深耶馬溪一帯は奇岩奇峰と瀬流が織りなす景勝地。



やまなみ地域
雄大な山々の営み

くじゅう連山

1700m級の山峰が連なるくじゅう連山をはじめ、祖母・傾山系、由布岳など、雄大な山々に囲まれたエリア。四季折々に色合いを変える大自然の山歩きや高原散策、山間のいで湯を楽しめる癒やしのスポット。



豊後地域
名水の潤いと歴史の道

白水ダム

清流・大野川の中・上流域に開けたエリアで、豊かな自然が清らかな水を育む名水のふるさと。「九州の小京都」竹田は、岡城趾など、当時の隆盛がしのばれる城下町。



日豊海岸地域
リアス式海岸と海の幸

保戸島

日豊海岸国定公園に指定された美しいリアス式海岸が続く、大分県南エリア。旧藩時代のたたずまいが残る臼杵や佐伯など、海辺の城下町は情緒たっぷり。関あじ・関さばをはじめ、豊後水道で揚がる海の幸が絶品。

(6) 大分県の日本一

天然自然が豊かな大分県には様々な日本一があります。特に、七島イの生産は全国で100%のシェアを誇っています。



温泉源泉総数
4,445孔 (H30年度末)
温泉湧出量
279kl/分 (H30年度末)



再生可能エネルギー
自給率
41.8% (H30年度末)



指定有形文化財
(建造物)
997件 (R2.5.1)



道路トンネル数
596本 (H31.3.31)



かぼす生産量
5,400t (H30年)



乾しいたけ生産量
948t (R1年)



七島イ生産量
5.5t (H30年)



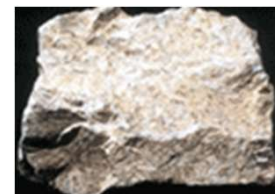
サフラン(花芯)生産量
15kg (R1年)



マダケ竹材生産量
34千束 (R1年)



ホオズキ出荷量
1,123千本 (H30年)



石灰石生産量
27,128千t (R1年度)



ひらめ養殖収穫量
642t (R1年度)

(7) 大分県の歴史

大分県は、古くは豊の国と呼ばれ、7世紀の終わり頃、豊前・豊後の二国に分けられました。

8世紀には宇佐八幡宮が全国4万社の八幡の総本宮として栄え、また、国東半島には「六郷満山」と呼ばれる独自の仏教文化が花開きました。

13世紀の初め(鎌倉時代)、豊後には大友氏が守護として入国し、以後約400年間統治が続きました。特に、大友宗麟の時代には、豊前を含め北部九州6か国を支配するまでとなりました。大友宗麟は、キリシタン大名としてキリスト教や西洋文化を積極的に取り入れました。府内(現在の大大分市)、臼杵には中国船やポルトガル船が入り、「南蛮貿易」が盛んに行われ、国際都市として繁栄しました。

16世紀末、豊臣秀吉によって大友氏が除国されると、領国は極端に細分化されました。その後約300年間、小藩分立の時代が続き、県内各所に城下町文化が花開いたことにより、自主自立の気風を育み、個性豊かな人材を生み出しています。

明治になると、大幅な府県改廃が進められ、豊後国は大分県に、豊前国は小倉県になりました。

その後、県の統廃合が行われ、下毛・宇佐両郡が大分県に編入され、今日の大分県域となりました。

3世紀	宇佐邪馬台国説
720ごろ	「豊後国風土記」成る
731	宇佐八幡宮、官弊社となる 六郷満山文化、国東半島を中心に展開
1551	フランシスコ・ザビエル来訪
1871	廃藩置県により大分県誕生
1876	下毛、宇佐郡を大分県に編入し、現大大分県域が確定
1962	県庁舎が現在の場所に建設される
2006	平成の大合併により18市町村となる

(8)大分県の偉人

(近世
安土桃山、江戸時代)

**大友 宗麟**

(戦国武将:1530~1587)

キリスト教を保護・推奨、西洋文化をいち早く取り入れ、ポルトガルと親交を結んだキリシタン大名

**黒田 官兵衛**

(戦国武将:1546~1604)

豊臣秀吉の側近として活躍し、天下統一を支えた天才軍師

**前野 良沢**

(中津藩医:1723~1803)

解剖書「ターヘル・アナトミア」を杉田玄白らと翻訳し、「解体新書」として出版

**田能村 竹田**

(南画家:1777~1835)

詩・書・画一体の独自の風雅の世界を確立し、代表作のいくつかは国の重要文化財に指定

**広瀬 淡窓**

(儒学者、教育者:1782~1856)

近世最大の私塾 咸宜園を創設し、門下三千有余の中から多方面に人材を輩出

ペトロ・カスイ・岐部

(司祭:1587~1639)

エルサレムを経てローマに赴き司祭となるも、帰国後に殉教

麻田 剛立

(天文学者:1734~1799)

ガリレオやニュートンに並び、月のクレーターの名前となった

大蔵 永常

(農学者:1768~1860)

九州各地をはじめ、大阪から東北にまで農業技術を学ぶ

(近代
明治以降)

**福沢 諭吉**

(啓蒙思想家:1835~1901)

慶應義塾の創設者であり、「学問のすゝめ」「西洋事情」などを執筆。一万円札の肖像としても有名

**滝 廉太郎**

(作曲家:1879~1903)

明治の中期、音楽界に彗星のように現れ、「荒城の月」「花」など不朽の名曲を残した。23歳で死去

**野上 弥生子**

(小説家:1885~1985)

夏目漱石の指導を受けて小説を書き始め、「海神丸」「秀吉と利休」など多数の作品を発表

**双葉山 定次**

(大相撲力士:1912~1968)

前人未踏の69連勝を誇る第35代横綱。愛称は「不世出の横綱」「相撲の神様」「昭和の角聖」

矢野 龍溪

(政治家:1850~1931)

福沢諭吉の門下生で、政治小説「経国美談」の著者

久留島 武彦

(童話家:1874~1960)

童謡「夕やけ小やけ」を作詞した「日本のアンデルセン」

堀 悌吉

(軍人:1883~1959)

平和と軍縮を希求した知性派海軍中将

朝倉 文夫

(彫刻家:1883~1964)

「墓守」など数多くの傑作を生み、「自然主義的写実主義」という作風を確立

福田 平八郎

(日本画家:1892~1974)

鮮やかな色彩と大胆な画面構成による独自の装飾的表現を確立

高山 辰雄

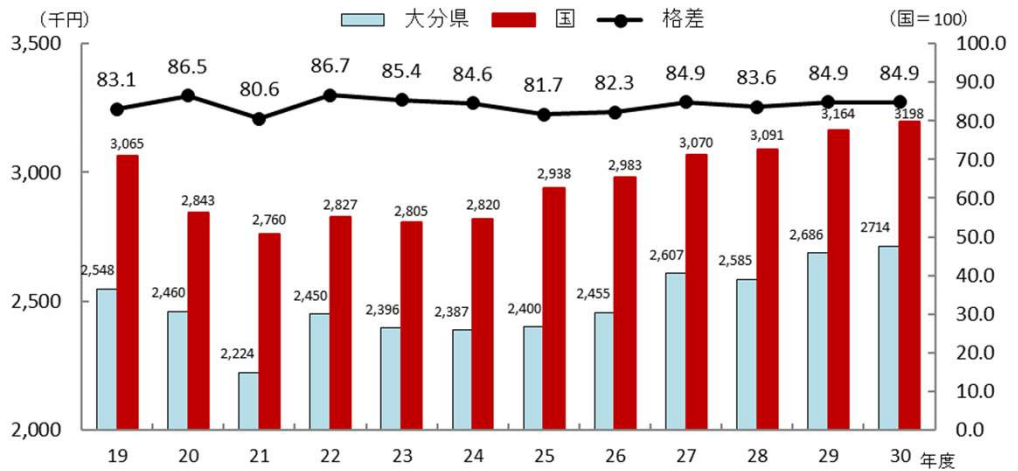
(日本画家:1912~2007)

日本画と洋画の壁を取り除く独自の創作を展開

(1) 県民経済

平成30年度の一人当たり県民所得は2,714千円となっており、依然として国民所得とは1割以上の格差が生じています。

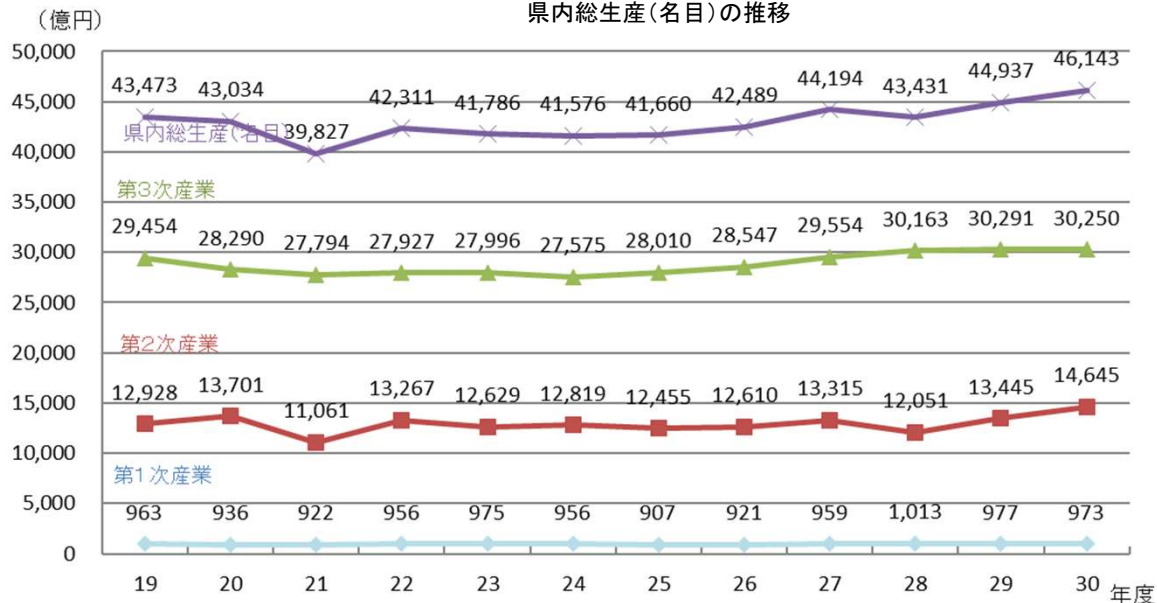
一人当たり県民所得及び対国民所得格差の推移



資料: 県統計調査課

(2) 産業構造

県内総生産(名目)の推移



資料: 県統計調査課

平成30年度の県内総生産(名目)は約4兆6千億円となっており、ここ10年間では最高となっている。

また、生産額及び就業者数は、いずれも第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業の順番となっています。

産業別就業者



(3) 産業の状況

① 農林水産業

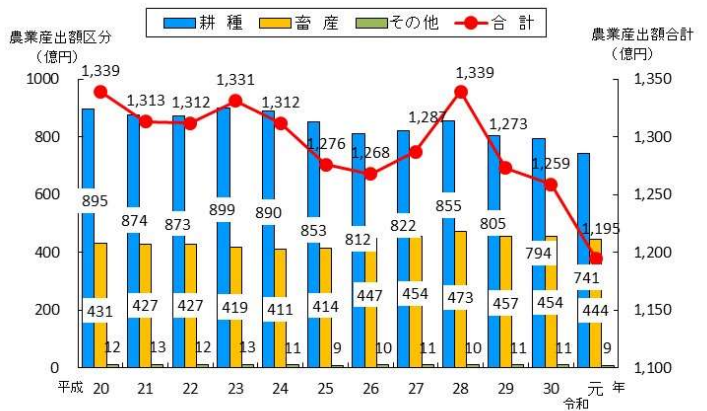
農業では、米のほか野菜(白ねぎ、トマト、いちご等)、果樹(なし、かぼす等)、花き(キク、スイートピー等)の園芸作物や肉用牛を中心とする畜産など、県内各地域の立地条件を活かして多様な展開がなされています。

林業では、日田市、佐伯市を中心とした、スギの木材生産や、豊後大野市や竹田市を中心とした乾しいたけ生産が盛んです。

水産業では、主に単価の高い中高級魚の養殖をはじめとした漁業が営まれています。

農業

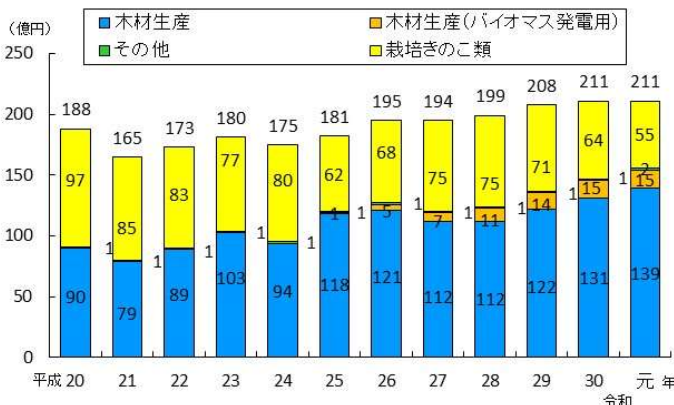
農業産出額の推移



資料:農林水産省

林業

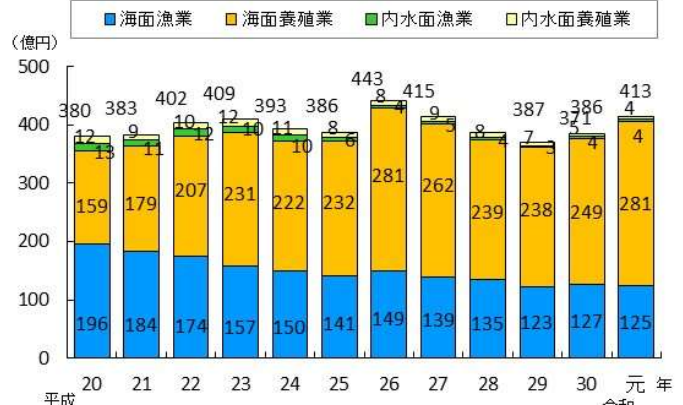
林業産出額の推移



資料:農林水産省

水産業

水産業産出額の推移



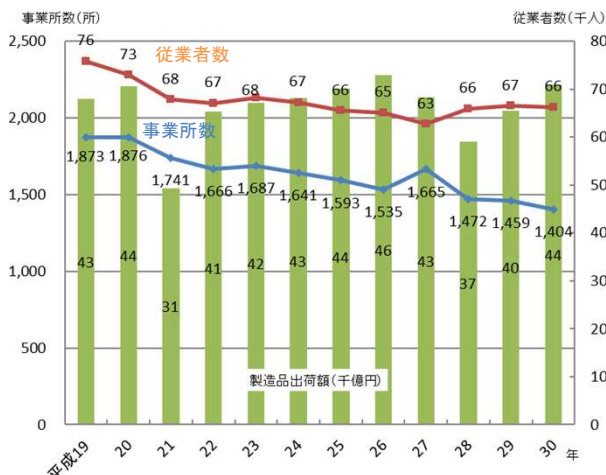
資料:農林水産省、県水産振興課

② 商工業

大分県には、鉄鋼、石油、化学、半導体、機械、自動車、医療機器など幅広い産業がバランスよく立地しており、製造品出荷額(平成30年)は約4兆4,389億円となっています(九州第2位)。

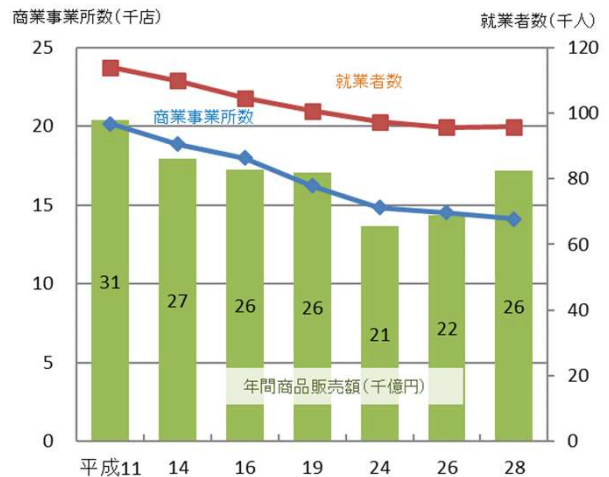
商業については、商業事業所数は減少が続いています。年間商品販売額(平成28年)は約2兆5千億円となっています。

製造品出荷額等の推移



資料:経済産業省

年間商品販売額等の推移



資料:経済産業省

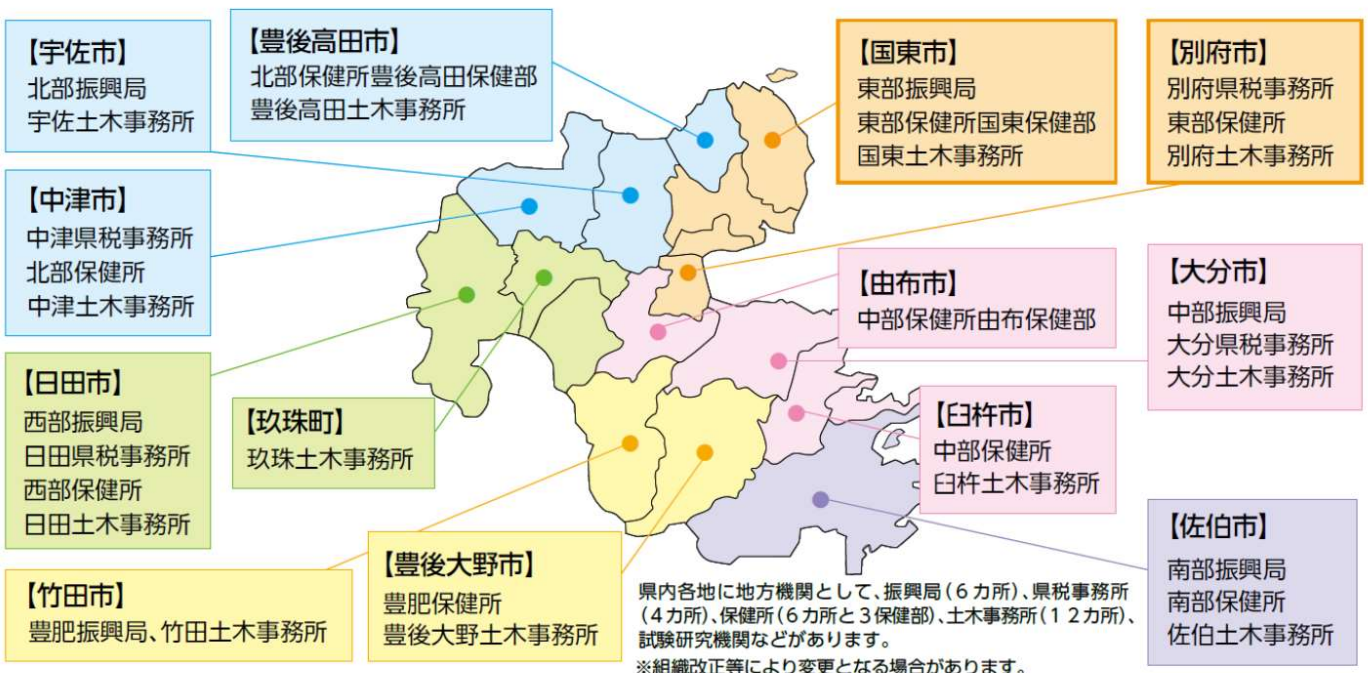
(1) 組織と業務



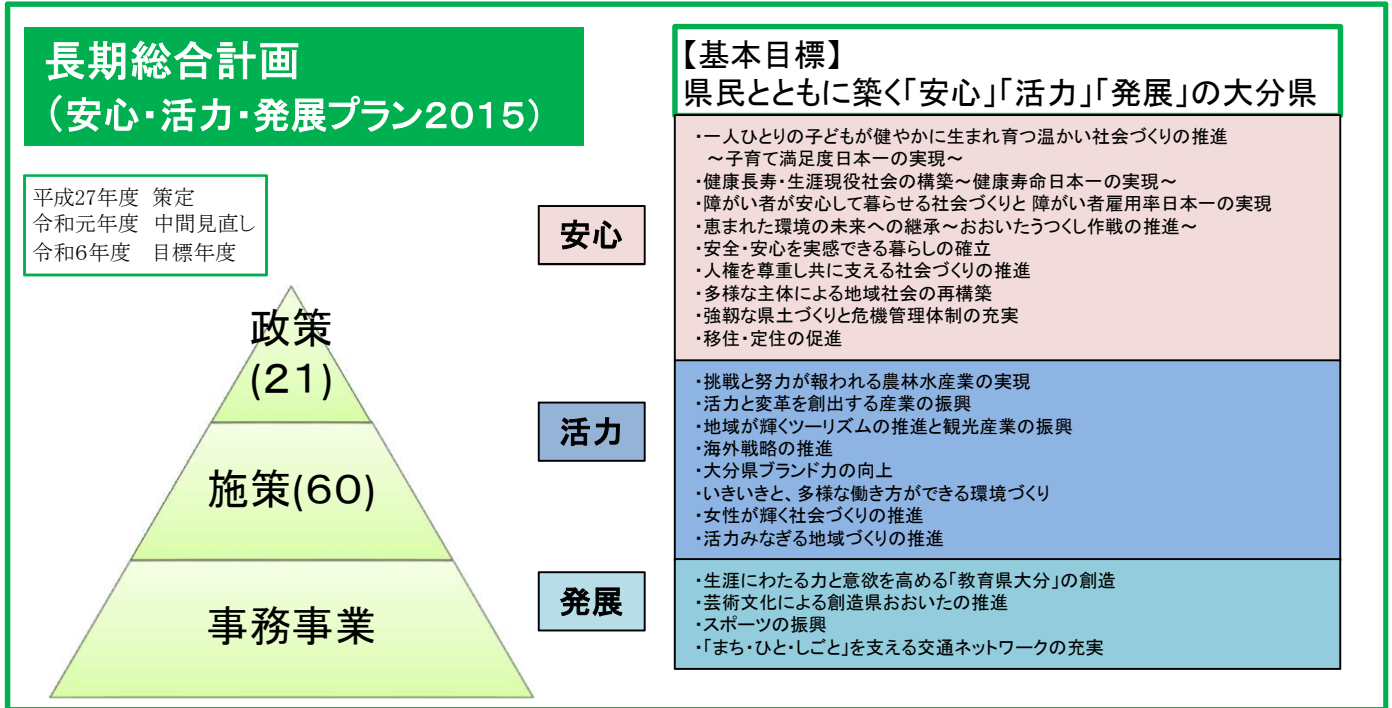
※注1 このほか、行政委員会として選挙管理委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。

※注2 組織改正等により変更となる場合があります。

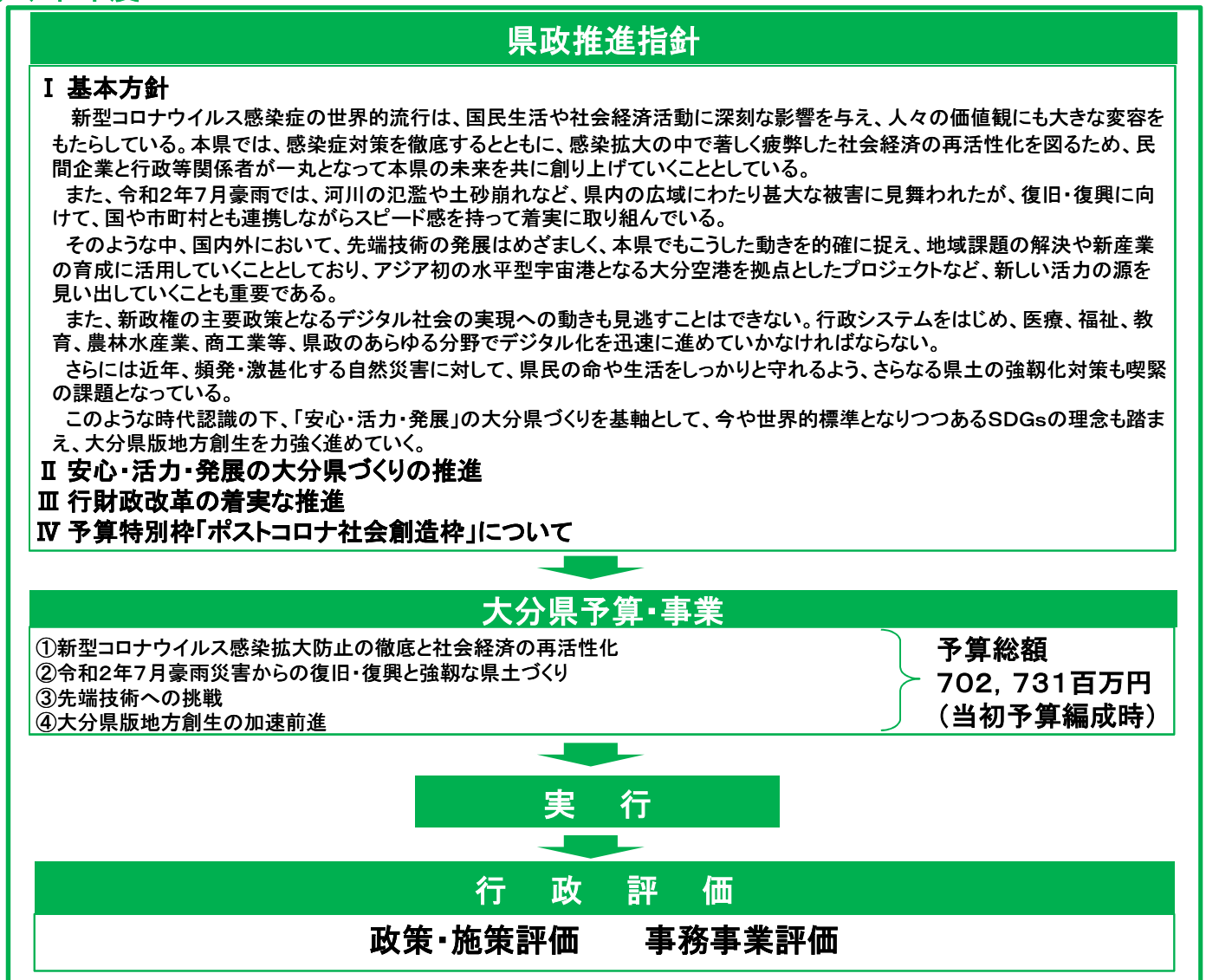
主な地方機関



(1) 中長期



(2) 単年度



(1)安心

1 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～

男性の子育て参画の推進や地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援など、社会全体で子育てを応援するための環境づくりや、出会いから結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援とともに、児童虐待の未然防止・早期対応、子どもの貧困対策、ひとり親家庭・障がいのある子どもと家族へのきめ細かな取り組みなどにより、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりを推進します。

- ・子育て満足度日本一の実現を目指します。



認定こども園の園児たち

2 健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～

県民参加型の健康づくり運動の展開や効果的・効率的な保健事業（データヘルス）の推進による生活習慣の改善など、健康を支える社会環境の整備に取り組むほか、高齢者の生きがいづくりや自立支援型ケアマネジメント、認知症施策の推進、さらには地域で安心して質の高い医療サービスを受けられる体制の充実・強化などにより、健康長寿・生涯現役社会の構築を進めます。

- ・健康寿命日本一の実現を目指します。



事業所ぐるみで取組む
「健康経営事業所」

3 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと 障がい者雇用率日本一の実現

障がいと障がい者に対する県民理解の促進やグループホームなどの住まいの場の確保、芸術文化・スポーツを通じた社会参加の推進など、障がい者が身近な地域で安心して自立した生活を継続して送るための取り組みとともに、障がいの特性に応じた仕事とのマッチングや就業面と生活面の一体的な支援による職場定着の推進、工賃向上のための共同受注体制の強化など、障がい者が安心して暮らし働ける社会づくりを推進します。

- ・障がい者雇用率日本一の実現を目指します。



選果場で働く障がい者

4 恵まれた環境の未来への継承

～おおいたうつくし作戦の推進～

生物多様性や自然環境の保全と適正利用につながる取り組みや、3Rの推進、循環産業牽引企業の育成など、循環型社会づくりとともに、地球温暖化対策や環境教育などを推進し、地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を進め、美しく快適な大分県を実現します。

- ・ 県民一斉おおいたうつくし大行動参加者数年間40万4千人を目指します。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク
自然体験

5 安全・安心を実感できる暮らしの確立

県民をはじめ企業などとの協働による犯罪に強い地域社会の確立や人に優しい安全で安心な交通社会の実現に取り組むほか、消費者の安心の確保、人と動物が共生する社会の実現、食の安全・安心の確保、健全な食生活と地域の食を育む食育の推進などにより、県民が安全に安心して暮らせる社会を実現します。

- ・ 刑法犯認知件数年間2,850件以下を目指します。



自主防犯パトロール隊との協働による
児童の見守り活動

6 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進

人権尊重社会の実現を図るため、様々な差別の解消に向けた人権教育や啓発、人権問題に関する相談・支援・権利擁護などの施策を総合的に推進するとともに、女性に対する暴力の予防や性犯罪被害者支援体制の充実、男女共同参画実現に向けた取り組みなど、人権を尊重する環境づくりを進めます。

- ・ 人権問題専門研修受講者数累計2,000人を目指します。



人権啓発フェスティバル

7 多様な主体による地域社会の再構築

多世代交流や住民相互の支え合い活動の推進などによる、だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じながら安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現に取り組むとともに、小規模集落対策の推進や集落同士が機能を補い合うネットワーク・コミュニティの構築などを進めるほか、地域課題の解決に取り組むNPO・ボランティアの育成・活動支援（中間支援）や協働に向けた支え合いの仕組みづくり、県民理解・参加の促進を図ります。

- ・ 高齢者、子育て家庭等、多世代交流・支え合い活動の実施主体数452組織を目指します。



小規模集落応援隊による海岸清掃

8 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実

抜本的な治水対策等による県土の強靱化や自主防災組織の活性化、防災教育・訓練の充実、救助・救援体制の確保など、自助・共助・公助の取り組みを進めるとともに、新型コロナウイルス等の感染症や家畜伝染病の発生・まん延の防止を徹底します。

- ・ 近年の豪雨実績を反映させた治水対策着手箇所数22箇所を目指します。



玉来ダム完成予想図

9 移住・定住の促進

UIターンを促進するため、地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくりや移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUターンの促進に取り組みます。

- ・ 移住促進策による移住者数2,700人を目指します。



東京での移住相談会

(2) 活力

1 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させます。

・農林水産業による創出額年間2,650億円を目指します。



水田の畑地化による大規模園芸産地づくり

2 活力と変革を創出する産業の振興

中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた伴走型支援や創業支援の強化、サービス産業の生産性向上支援、先端技術を活用した地域課題の解決や新ビジネスの創出、大分県版第4次産業革命「OITA4.0」を支える人材育成、戦略的な企業立地の推進と地域の強みを生かす産業集積の深化等による産業振興を図ります。

・IoT等のプロジェクト事業化件数年間20件を目指します。



遠隔操作ロボット「アバター」を活用した社会見学

3 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興

多様化する旅行ニーズに応じた国内誘客と、アジアから欧米・大洋州までウイングを広げた海外誘客を加速させるとともに、観光関連企業の経営力強化を通して、本県観光産業を稼げる産業、変化に強い産業へと転換していきます。

・県内宿泊客数783万人を目指します。



外国人観光客向けガイド付き釣り体験

4 海外戦略の推進

海外の活力や人材を取り込み、ものづくり産業や農林水産物・加工品、海外誘客など、分野別にターゲットとなる国・地域を定めた海外戦略を展開するとともに、海外展開の基盤となるネットワーク強化や、留学生の県内定着に向けた就職・起業支援、外国人労働者の受入環境の整備など、多文化共生社会の構築を図ります。

・海外展開企業数150事業所を目指します。



大分県海外プロモーション

5 大分県ブランド力の向上

「おんせん県おおいた」のイメージを生かしつつ、大分県の食や自然、文化などの様々な魅力について、デジタルマーケティングの活用や県民総参加型広報の展開などにより、効果的に情報を発信することで、大分県のブランド力向上を図ります。

・地域ブランド調査12位を目指します。



海外向け大分県PR動画

6 いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり

誰もがいきいきと活躍できるよう、働きやすい環境の整備を進め、多様な働き方を可能にする「働き方改革」を推進するとともに、若年者の県内就職や多様な人材の活躍促進に向けた支援などを行うことにより、人材の確保・育成を図ります。

・15～69歳就業者数498,400人を目指します。



技術実習を行う学生(大分高等技術専門学校)

7 女性が輝く社会づくりの推進

働く場をはじめ、あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、固定的な性別役割分担意識など、女性が感じる生きづらさを解消し、男女がともに責任を分かち合う環境づくりを進めるとともに、安心して子どもを生み育てながら働けるよう、官民が連携して柔軟な働き方の導入や職場環境の整備などを行い、すべての女性が輝き活躍できる社会を目指します。

・女性が輝くおおいた推進会議の女性活躍宣言企業数230社を目指します。



次世代女性リーダー養成セミナー

8 活力みなぎる地域づくりの推進

地域資源や歴史・文化、地理、地質などの地域の特徴を活用した新たな取り組みや、芸術文化の創造性を生かした地域づくりなどを支援するとともに、地域の担い手の確保・育成、空き家の利活用などにより、魅力的な地域づくりを推進します。

・地域活力づくり取り組み件数(累計)1,800件を目指します。



ラグビーワールドカップに合わせた地域の魅力発信(源流太鼓)

(特徴ある地域づくり)

県内各地域で、地域資源を活用し特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組みます。



東部地域

(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)

- 時代の変化に対応する農林水産業の創出
- 地域資源を生かした観光の推進と地域の活力向上
- ネットワーク・コミュニティの構築と移住・定住の促進
- 進出企業へのフォローアップの強化



生産拡大を目指すキウイフルーツ

中部地域

(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)

- 芸術文化の創造性やスポーツの活力を生かした魅力あるまちづくりの実現
- 地域特性を生かした観光振興による交流人口の増加
- 地域の特徴を生かした力強い経営体の育成と地域ブランドの確立
- 特色ある地場産業を担う人材の確保・育成



保戸島の食の祭典
[VICOLO 保戸島つまみ食い路地]

南部地域

(佐伯市)

- 全国トップレベルの養殖業の経営強化
- 循環型林業による高品質乾燥材の安定供給体制の確立
- もうかる農業生産体制の確立
- 地域の自然、文化、食などを生かしたツーリズムの推進
- 九州一広い街・浦・里の安全・安心なまちづくり

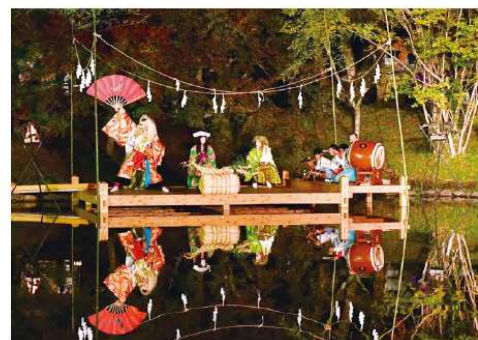


赤潮防除効果も期待される一粒カキ
(シングルシードオイスター) の養殖

豊肥地域

(竹田市、豊後大野市)

- 競争に打ち勝つ農業経営体の育成と新たな担い手の確保
- 山間地域の経済を支える林業の担い手の確保・育成
- 豊かな地域資源を生かした新たな誘客促進
- 高原や温泉を活用した産業の振興
- 郷土芸能や特産品など地域の特徴を生かした地域づくりの推進



用作公園で舞う夜神楽「水鏡」

西部地域

(日田市、九重町、玖珠町)

- 地域経済を支える林業・木材産業の振興
- 飼養環境に恵まれた畜産の振興
- 地域の強みを生かした農業の振興
- 地域の資源を生かした交流人口の拡大と滞在型観光の推進
- 集落機能を維持するためのネットワーク・コミュニティづくりの推進



奥日田の自然を活用したアクティビティ

北部地域

(中津市、豊後高田市、宇佐市)

- 地域の特性を最大限に生かした第一次産業の振興と6次産業化の推進
- 集積する自動車関連企業のさらなる競争力強化に向けた支援
- 地域固有の旅体験で人を呼び込む観光の振興
- 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの支援



滞在型観光の拠点となる長崎鼻

(3) 発展

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進や、世界に通用する「グローバル人材」の育成、いじめ・不登校対策の充実・強化、学校・家庭・地域との協働など、学校教育の充実と生涯を通じた学びを支援するとともに、青少年の健全育成やひきこもり支援、多様な行政課題の解決に向けた大学等との連携を進めます。

- ・全国に誇れる教育水準の達成を目指します。



タブレット型端末を活用した授業

2 芸術文化による創造県おおいたの推進

多彩な芸術文化に親しむ機会の充実、芸術文化の魅力発信強化、芸術文化ゾーンと文化施設、アート系NPO等との連携など、芸術文化の創造性を生かした行政課題への解決に取り組むとともに、文化財の保存・活用に関する総合的な施策の推進など、計画的な文化財・伝統文化の保存・活用・継承を進めます。

- ・県立美術館入場者数年間50万人を目指します。



第33回国民文化祭・おおいた2018、
第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

3 スポーツの振興

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進めます。

- ・国際大会出場者数年間60人を目指します。



県内企業への就職支援により
世界を目指す本県アスリート

4 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

本県が九州の東の玄関口として、人や物の流れを増やしていくため、フェリー航路、航空路線などの広域公共交通ネットワークの充実や、港湾・空港などの拠点施設の機能強化を図るとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線整備計画路線格上げの取り組み、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成など、まち・ひと・しごとを支える基盤を整備します。

- ・フェリー・航空輸送人員年間390万人を目指します。



庄の原佐野線（下郡工区）の完成予想図

県は、平成16年に「行財政改革プラン」、21年に「中期行財政運営ビジョン」、24年に「行財政高度化指針」、27年に「行財政改革アクションプラン」を策定し、不断に聖域なき行財政改革に取り組み、一定の成果を上げてきたと考えています。

しかしながら、今後2040年頃にかけて、急速な人口減少・少子高齢化に伴って、官民双方の担い手不足や医療・介護需要の増加、税・社会保険料の増加といった課題が生じるおそれがあります。また、社会資本や公共施設も、2040年にかけて老朽化が進み、更新費用の増加や料金収入の減少等の課題が生じるおそれがあります。

こうした課題を克服し、持続可能な行財政基盤を確立するため、令和2年3月に「大分県行財政改革推進計画」を策定し、先端技術を積極的に活用した次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくりを進めています。

計画期間 令和2年度～6年度までの5年間(改訂後のプラン2015と連動)

行財政改革推進計画の体系

県民
「夢と希望あふれる大分県」の実現



「安心・活力・発展プラン2015」
「第2期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」に掲げる政策の実現

次世代型「スマート県庁」の実現

(革新的な先端技術を積極的に活用した次世代の社会の姿を見据えた新たな行政運営の仕組みづくり)

行政運営

- ◆ 行政手続の電子化・業務の効率化
- ◆ 市町村における行政手続の電子化・業務の効率化
- ◆ 市町村の連携による効率化
- ◆ 多様な主体との協働
- ◆ 内部統制

社会保障

- ◆ 疾病予防と重症化予防等による医療費適正化
- ◆ 介護予防と自立支援
- ◆ 高齢者の活躍・社会参加

社会資本・公共施設

- ◆ 長寿命化・予防保全の推進
- ◆ ICT等を活用した建設現場の生産性の向上
- ◆ 市町村のインフラ維持管理業務の支援
- ◆ 県有建築物の利活用促進

財政資源と職員人材の活用

- ◆ 健全財政の堅持と次世代の社会を見据えた戦略的な投資
- ◆ 職員人材の確保・育成
- ◆ 働き方改革の推進

県庁

～ポストコロナを見据え、大分県版の地方創生を加速前進させる積極予算～

今年度は、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、ポストコロナを見据えた次の4点を柱とした8年連続プラスの積極予算としました。

第一は、「**新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底と社会経済の再活性化**」です。県民の皆さまのご協力により県内の感染状況は落ち着いてきましたが、今後も油断することなく感染拡大防止対策を講じていくとともに、ワクチン接種の円滑な実施に向け、万全の体制を整えます。

併せて、社会経済の再活性化も急がなければなりません。生活困窮者等への支援や観光・飲食関係等の事業者への経済的支援など、全力で取り組んでいきます。

第二は、「**令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興と強靱な県土づくり**」です。豪雨災害からの一刻も早い復旧・復興に向け官民挙げて取り組んでいるところですが、顕在化する気候変動の影響や緊迫する南海トラフ地震も念頭に、河川・ため池の改修や土砂災害防止、さらには社会インフラの整備促進など、県土の強靱化を急ぎます。

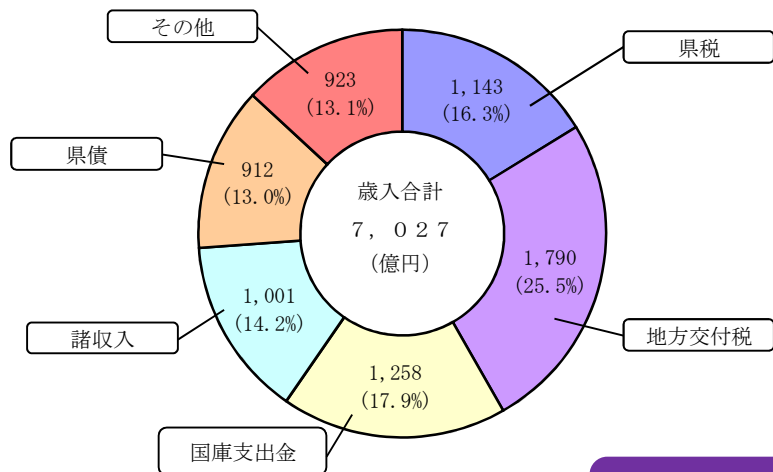
第三は、「**先端技術への挑戦**」です。AIやドローン、アバター等の先端技術は日々目覚ましく進化し、社会のあり様まで変えようとしています。こうした動きを的確に捉え、先端技術を活用し地域課題の解決や、新産業の創出・育成を図ります。

第四は、「**大分県版地方創生の加速前進**」です。人の分野では、子育て満足度、健康寿命、障がい者雇用率の3つの日本一へ引き続き挑戦します。出会いから子育てまで切れ目のない支援と県民総ぐるみの健康づくり運動を展開するほか、障がい者の雇用促進に力を入れます。

仕事の分野では、農林水産業のさらなる構造改革として、水田畑地化を強力に推進します。商工業では、県経済の要である中小企業・小規模事業者を支えるため、新型コロナ対応特別資金等の県制度資金をしっかりと確保します。また、観光誘客では、マイクロツーリズムやワーケーションなど、新しい旅のかたちへの対応を強化します。

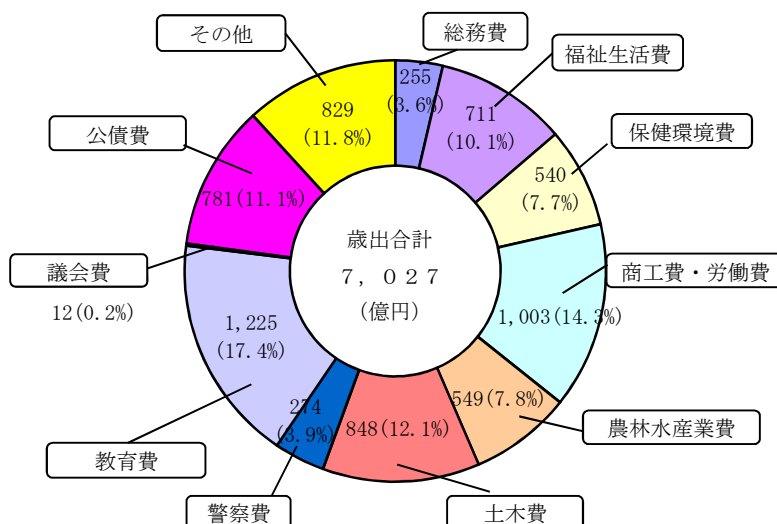
地域の分野では、社会基盤の充実を図るとともに、情報通信産業や農業、建設産業など様々な分野への就職・転職による移住促進の取組を加速します。

引き続き、県民の思いをしっかりと受け止め、若者が魅力を感じる夢と希望あふれる大分県の実現に向けて取り組んでまいります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



県税	県民税、自動車税、事業税などの税金
地方交付税	国から交付される使途を決められていない財源
国庫支出金	国から交付される使途の決められた財源
諸収入	貸付事業の償還金、宝くじ収入など
県債	道路や公共施設等を作るための借金
その他	特別会計や基金からの繰入金など

令和3年度一般会計予算 7,027億円 (前年度比 7.3%増)



総務費	政策や計画を立案したり、地域活性化のための事業等の経費
福祉生活費	子育て支援や高齢者、障がい者福祉のための経費
保健環境費	健康増進や食の安全・安心、環境保全のための経費
商工費・労働費	企業の活動を促進したり、求職者の支援等をする経費
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興を図るための経費
土木費	道路や橋、河川、下水道等を建設したり、修繕したりするための経費
警察費	犯罪や交通事故を防ぎ、県民の安全・安心を守るための経費
教育費	学校を建設したり、文化やスポーツを振興するための経費
議会費	県議会を運営する経費
公債費	県債を償還する経費
その他	災害復旧費など

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済再活性化

- ・感染拡大防止のため、PCR検査等を幅広く実施するほか、ワクチン接種がスムーズに進むよう副反応等の専門相談に対応するコールセンターを設置します。
- ・高齢者福祉施設や障がい者支援施設等における感染拡大を防止するため、感染対策に要する経費等に対し助成します。
- ・児童生徒の学びの保障と安全で安心な学習環境を確保するため、消毒等の事務作業を支援するスクールサポートスタッフ等を配置します。
- ・コロナ禍で利用者が減少している交通機関の早期利用回復を図るため、滞在期間の延長や満足度向上につながる企画商品の造成・販売、ユニバーサルデザインタクシーの導入等を支援します。
- ・感染症の影響を受けた中小企業等の資金繰りや再活性化を支援するため、県制度資金の新規融資枠を増額します。
- ・感染症等の影響により過大な負債を抱える企業のうち、今後の再活性化を目指す企業を支援するため、資本性資金の供給等を行う中小企業再生ファンドに出資します。
- ・感染症拡大の影響による離職者の再就職支援を強化するため、大分労働局等と連携し、人材が不足している分野への転職等を支援します。
- ・在宅勤務等の新しい働き方に対応した企業誘致を推進するため、サテライトオフィス整備を支援する市町村や社員の移住を伴うリモートワークを推進する事業者に対し助成します。



スクールサポートスタッフ
による消毒作業



ワーケーションの推進

(2) 人を育み基盤を整え発展する大分県**【生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造】**

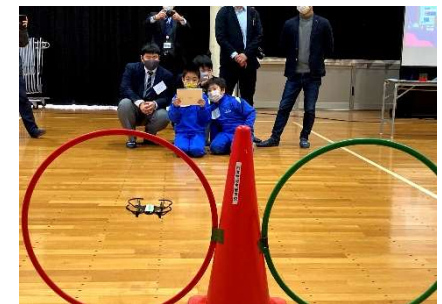
- ・これからの時代を担う高校生に必要なグローバル教育及びSTEAM教育を推進するため、英語4技能の育成に向けた認定テストを実施するとともに、デジタル教科書やAIドリルなどの先端技術を活用したEdTech教材を導入します。
- ・先端科学技術分野で活躍できる人材を育成するため、高校生が宇宙への興味を持ち、挑戦意欲の醸成につながるSTEAM課題研究講座等を開設します。
- ・小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-Labo(オーラボ)」のサテライトラボを拡充するほか、動画による在宅型科学体験講座等を実施します。
- ・児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、スクールカウンセラーを不登校の児童生徒が多い学校へ重点配置するほか、不登校傾向にある生徒への支援等を行う登校支援員を配置します。
- ・貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決を図るため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカーを増員します。

【芸術文化による創造県おおいたの推進】

- ・本県を訪れる観光客が様々な芸術文化施設やイベント開催地を往来し、地域を活性化する好循環を創出するため、県立美術館(OPAM)を中核としたカルチャーツーリズムを展開します。

【スポーツの振興】

- ・ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承するため、大分スポーツ公園内にラグビーロードを創設するほか、ラグビークリニック等を実施します。



高校生によるプログラミング講座



体験型子ども科学館O-Labo(オーラボ)



総合型地域スポーツクラブでの
ラグビー体験教室

(3) 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県

【子育て満足度日本一の実現】

- ・若者の結婚の希望を後押しするため、「出会いサポートセンター」を運営するとともに、オンラインお見合い機能の追加や会員向け婚活イベントを実施します。
- ・不妊治療の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療を行う夫婦に対し自己負担が概ね3割となるよう助成します。
- ・安心して子育てできる環境を整えるため、市町村域を超えて病児保育の利用が可能となる仕組みを構築するほか、スマホで施設の空き状況の確認や予約等ができるシステムを導入します。
- ・子どもの居場所を確保するため、モデル小・中学校において朝食の定期的な無料提供を行うとともに、クラウドファンディングを活用して子ども食堂の運営を支援します。

【健康寿命日本一の実現】

- ・健康寿命を延伸させるため、健康経営事業所へのアドバイザー派遣や、健康アプリ「おおいた歩得」の機能追加など働く世代の心身の健康づくりを支援します。
- ・高齢者が元気に生活し続けることができる地域づくりを推進するため、自立に向けて支援が必要な高齢者を短期集中予防サービスの積極的な利用につなげるインセンティブ（加算）制度を創設します。
- ・身近に医療機関がないへき地に暮らす県民の受診機会を確保するため、オンライン診療の体制構築に向けた実証に取り組みます。

【障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現】

- ・障がい者雇用を促進するため、アドバイザーによる企業訪問や仕事の切り出し等を行うとともに、知的・精神障がい者の一般就労への移行を支援する就労移行コーディネーターを配置します。
- ・発達障がい児の早期発見・早期支援につなげるため、保護者などの相談支援や支援先の受入調整等を行うコンシェルジュを県内6カ所に配置します。

【おおいたうつくし作戦の推進】

- ・2050年CO₂排出実質ゼロに向け、家庭のエコライフスタイルへの転換を促進する環境アプリの普及を推進するほか、研究機関等と連携し、地域別の気候変動予測等を行います。
- ・プラスチックごみや焼却灰など廃棄物のリサイクルを進めるため、市町村や企業と連携し、効率的な分別収集に向けた車両運行管理の実証や焼却灰のセメント原料化に伴う輸送費用への助成を行います。

【安全・安心を実感できる暮らしの確立】

- ・安全で安心な暮らしを守るため、自主防犯パトロール隊の青パトへのドライブレコーダー設置や自治会等による防犯カメラ設置に要する経費を助成します。

【人権を尊重し共に支える社会づくりの推進】

- ・女性に対するDVや性暴力等をなくすため、おおいた性暴力救援センター「すみれ」の相談体制を24時間365日に強化します。

【多様な主体による地域社会の再構築】

- ・だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じ安心して暮らせる地域共生社会の実現を図るため、地域住民等が取り組む多世代交流や地域の支え合い活動等を支援します。

【強靱な県土づくりと危機管理体制の充実】

- ・南海トラフ地震や台風による津波・高潮等の浸水被害から大分臨海部を守るため、国直轄事業との一体的整備による防護機能強化に向けた調査を実施します。
- ・浸水発生時の住民の避難行動を促進するため、過去に浸水被害のあった中小河川等について、市町村による浸水ハザードマップの作成を支援します。
- ・県の防災力を高めるため、防災・減災のための情報活用プラットフォームと連携した災害時のドローン映像の活用等、先端技術活用に関する検討に取り組みます。

【移住・定住の促進】

- ・コロナ禍における地方移住への関心の高まりを実際の移住につなげるため、移住情報のデジタル化を促進するほか、お試し移住施設の改修等を行う市町村を支援します。
- ・福岡在住の若年者のUIJターンを促進するため、福岡市中心部の拠点施設「dot.(ドット)」を活用し、学生・UIJターン就職希望者向けイベント等を実施します。
- ・IT分野への就職・転職による移住を促進するため、IT技術の取得講座等を実施します。



出会いサポートセンターの運営



高齢者による健康づくり運動



環境アプリによる環境保全活動の促進



災害の防止・軽減を図る改良復旧事業



「dot.」企画宣伝部ガイダンス&ワークショップ

(4)いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県

【挑戦と努力が報われる農林水産業の実現】

- ・大規模な園芸産地を育成するため、園芸団地づくり計画に基づく取組を重点的に支援するほか、水稲から露地野菜栽培への転換に向け、技術アドバイザーによる実践的な技術指導等を実施します。
- ・令和5年度までに白ねぎ、こねぎを合わせた産出額100億円を実現するため、白ねぎの新規栽培者の機械導入等を支援します。
- ・花きの流通販売体制を強化するため、経営リスク分散に向けた新品種の導入等を支援します。
- ・赤身の美味しい高付加価値の牛肉を生産するため、食味分析等を通じて消費者の嗜好変化を捉えた指標づくりを行い、大分らしい種雄牛の造成に取り組めます。
- ・県産材の供給体制の強化を図るため、森林資源の循環サイクルの短期化が期待できる早生樹の導入や大径材の利用促進に取り組めます。
- ・ブリ類養殖業の周年出荷体制を強化するため、出荷時期が調整可能な人工種苗による養殖に取り組めます。
- ・高齢農家等の経営継承を促進するため、相談等に対応するコーディネーターを設置するとともに、中小企業診断士等の派遣による継承計画の策定等を支援します。



新規栽培者による白ねぎの定植



早生樹(樹種:コウヨウサツ)の苗木



ブリの周年出荷に必要な人工種苗

【活力と変革を創出する産業の振興】

- ・市場の成長が期待されるエネルギー産業を育成するため、水素透過金属膜を活用した水素サプライチェーンの実証に取り組むとともに、水素関連分野に対し研究開発に要する経費を助成します。
- ・宇宙への興味・関心を喚起し、県内企業の宇宙関連産業への挑戦機運を醸成するため、本県で開催される「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」に合わせ、関連イベントを実施します。
- ・衛星データの活用による地域課題の解決を図るため、活用例の紹介等を行うセミナーを開催するほか、実証化に向けた伴走型支援を行います。

【地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興】

- ・旅行需要が多様化する中、国内旅行者の誘客を促進するため、富裕層が多い首都圏やリピーター確保につながる近隣県等、それぞれのニーズに応じてSNS等での情報発信や誘客対策を行います。
- ・ニーズが高まりつつあるワーケーションを促進するため、周辺の観光施設等と連携したプランを造成する県内宿泊事業者の通信環境整備等を支援します。

【海外戦略の推進】

- ・県内就職・起業を目指す留学生を支援するため、償還免除付きの新たな奨学金制度を創設します。

【女性が輝く社会づくりの推進】

- ・女性が活躍でき、男女が共に働きやすい社会の実現を図るため、経済団体と連携し、女性の視点を生かした社内プロジェクトへの支援を行うほか、企業、女性、家庭の意識改革を促すセミナー等を実施します。



宇宙産業の創出



女性起業家創出を目指した
ビジネスプラン発表会
(おおいたスタートアップウーマンアワード)

9. 大分県管内図、県のシンボル



<県木 豊後梅>



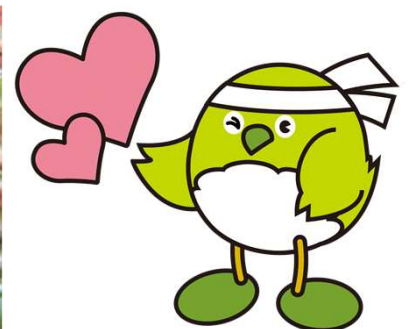
【昭和41年8月16日制定】
豊後梅は、古くから豊後の名産として知られていました。花は大輪で淡紅色をおびています。

<県鳥 メジロ>

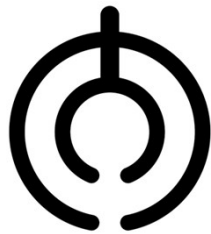


【昭和41年2月1日制定】
メジロは全国的に生息している鳥ですが、大分県のメジロは、色彩が美しく、よく鳴くことから、古くから豊後メジロとして全国的に有名で、県民に愛されています。

<大分県応援団”鳥” めじろん>



【平成16年12月24日誕生】
第63回国民体育大会のマスコットキャラクターとして生まれ、現在も大分県の応援団”鳥”として世界で活躍しています。
身長:乾しいたけ 20.08個分
体重:カボス 200.8個分



大分県



大分県企画振興部政策企画課
TEL:097-506-2031
FAX:097-506-1722
〒870-8501
大分県大分市大手町3-1-1

令和3年4月作成